

高等部 卒業を祝う会

2月13日に、高等部の「卒業を祝う会」を行いました。卒業生の出し物は、「3年生クイズ」でした。3年間の思い出や在校生への感謝の気持ちをクイズにすることで、恥ずかしがりながらも自分の言葉で感謝を伝えることができました。最後にはくす玉を割り、協力して作った「今までありがとう」のメッセージを伝えることができました。

卒業生・在校生が互いに感謝の気持ちを伝え、楽しい思い出の1ページを刻むことができた素敵な会でした。



くす玉「ありがとう」



3年生クイズ

体育館の壁面に、卒業生と在校生が一文字一文字心を込めて作成した卒業メッセージを飾りました。メッセージの内容は、一人一人がアイデアを出し合って決定しました。在校生の出し物は、「高等部めぐり」でした。「高等部めぐり」とは、高等部の生徒や職員の顔写真を使った「坊主めぐり」です。カードは在校生が1枚ずつ手作りし、3年生のカードには在校生からのメッセージをつけました。卒業生も在校生も楽しいひとときを過ごすことができました。



卒業メッセージの前で集合写真



高等部めぐり

<1年を振り返って>

高等部では、現在や将来、「幸せな生活」を送ることができるように様々な活動に取り組んできました。作業学習や現場実習に取り組んだ職業学習、家庭や社会での生活を充実させるための学習、楽しく生きるための時間、どれも皆さんの「幸せ」に繋がっています。3年生はそれぞれ、企業や福祉の就労先に進みます。3年間積み重ねた力に自信をもって、「幸せ」な日々を過ごしてください。1・2年生は、3年生の姿を思い浮かべて、この先どのように進んでいけばよいか、「幸せな生活」をイメージしながら次の一年を過ごしてほしいと思います。

高等部主事 宇治 徹明



佐渡特別支援学校だより

新潟県立佐渡特別支援学校
連絡先：(0259) 22-2145

第315号
令和7年3月21日



「笑顔と対話」の1年間

教頭 本間 学

今年の冬は、例年になく大雪でしたが、いつの間にか校舎脇の桜のつぼみも膨らみ、春の訪れを感じるようになりました。早いもので令和6年度の教育活動の締めくくりを迎えます。

今年度、当校は「笑顔と対話」をキャッチフレーズに教育活動を行ってきました。入学式では、校長が「笑顔と対話」について話をしました。

「笑顔には、不思議なくらい人と人との関係を良くしてくれる魔法の力があります」

1年間を振り返ってみると、「笑顔と対話」の効果は大きかったように思います。教師が「笑顔と対話」で子供たちに関わると、子供たちも笑顔で返してくれ、クラスや学校全体が温かい雰囲気になります。私自身も子供たちとの日々の関わりの中で、「笑顔と対話」の効果を実感しました。例えば、子供と目が合ったときに、私の方からニコッと笑顔を向けると、子供もニコッと笑顔を返してくれます。それだけで子供と気持ちが通じ合い、私自身も温かい気持ちになりました。笑顔だけで、子供たちとよりよいコミュニケーションをとることができました。

「笑顔と対話」は、教師と子供たちだけではなく、子供同士の関わりでも、「笑顔と対話」を土台にし、コミュニケーション力を高める授業を工夫してきました。その中で、子供たちは、安心して自分の思いや考えを伝えたり、仲間を受け入れたりすることができました。子供同士の笑顔と対話を通して、子供たちは自己の考えを広げたり深めたりしていくことができました。まさに、主体的で対話的な深い学びにつながっていきました。

さらに、「笑顔と対話」は、学校と地域、関係機関との関わりの中でも発揮され、よりよい関係が築かれていきました。

このように「笑顔と対話」が広がっていくと、共生社会の形成にもつながっていくと思います。来年度、当校は創立40周年を迎えます。「笑顔と対話」を継続し、新たな一歩を踏み出していきたいと思っています。

最後になりますが、保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様には、1年間、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。4月から、子供たちは新たな学年、学部、社会での時間が待っています。それぞれの場所で、自分にできること、やるべきことに精いっぱい取り組んでほしいと思います。

卒業・進級おめでとうございます。



小学部 卒業・進級を祝う会

3月14日に「卒業を祝う会」がありました。会の看板、プログラム、6年生へのプレゼント、出し物など、1～5年生が心を込めて準備をしました。6年生は中学部で頑張ることを習字で書き、一人ずつ発表しました。在校生や職員が「がんばってね」と鈴やタンバリンで応援しました。6年生は会を準備してくれたことや応援してくれたことに感謝し、サプライズで在校生にプレゼントを渡しました。心が通い合う温かで素敵な会でした。



プレゼント渡し



中学部で頑張りたいこと発表

2月26、27日には、進級を祝う会を行いました。準備では、同じ学年の仲間と一緒に気球やプレゼントを作りました。学年ごとに個性あふれる素敵な気球やプレゼントを作ることができました。祝う会では、みんなが1年間頑張ってきたことをスライドで見たあと、次の学年の気球に自分を乗せました。その他にも、みんなが作った素敵なプレゼントをもらい、全員でダンスをしました。最後になかなか割れないくす玉が割れたときは、みんなの嬉しそうな表情を見ることができました。たくさんの笑顔あふれる、温かい会となりました。



同じ学年の仲間と一緒に気球作り



最後のくす玉「ありがとう」

<1年を振り返って>

3月。学校の一年間が終わろうとしています。期待と緊張でドキドキしながらスタートした4月から、子供たちはいろいろな経験を重ねてきました。学級の友達や先生とのつながりの安心感の中でのびのび学んだり、外の世界に手を伸ばして新しい体験に目を輝かせたり…。子供たちのいろいろなことにチャレンジする姿や活動を楽しむ笑顔は、私達職員にとっても大きな喜びでした。

ご卒業・ご進級、おめでとうございます。4月からまた新しいスタートです。新しい一年も、元気でそれぞれの学校生活を楽しんでくれることを願っています。

小学部主事 粕谷 恵実子

中学部 卒業を祝う会

卒業生は、3年間一緒に過ごした仲間や在校生への感謝の気持ちを込めて、卒業制作としてオリジナルトートバッグを作りました。アクリル絵の具でトートバッグを染め、3年生12人がデザインしたイラストをアイロンプリントシートにして貼り付けました。「卒業を祝う会」当日、卒業生からはオリジナルトートバッグを、在校生からは寄せ書きをプレゼントし合いました。在校生と卒業生が協力してレクリエーションに取り組んだり、在校生や懐かしい職員からの温かいメッセージ動画を見たり、次年度に向けて互いを応援する心温まる会となりました。



レクリエーション ○×クイズ



卒業制作づくり

在校生は、「卒業を祝う会」に向け、1ヶ月間準備を重ねました。記念撮影時の背景になる大型桜の制作をしたり、スライドショーでの卒業生へのメッセージを作成したりしました。特に自分の役割については、クラスやリハーサルで何回も練習しました。本番では、涙を浮かべ寄せ書きを交換し、スライドショーを観ている生徒の様子がありました。リハーサルや生徒のクラスでの練習等、生徒の日頃の頑張りが表れた素晴らしい会となりました。



寄せ書き渡し



桜制作

<1年を振り返って>

この1年間を通して一人一人の自分の意思を伝える力・相手のメッセージを受け取り考える力がぐんと伸びたと感じています。真剣に話し合う場面もありました。表情や目で伝え合うことで安心感が広がる場面もありました。24人いるから時に競い合って衝突もしたけれど、またお互いを気遣い、笑い合っただけの助け合いながらの毎日でした。

1年間の締めくくりとして生活単元学習の時間に自分の頑張ったことを発表しました。一人一人がみんなの前で堂々と発表する姿はとても頼もしかったです。これまでの頑張りを自信にして、新年度も自分らしく健やかに学校生活を楽しんでください。

中学部主事 滝田 恵子